

定例記者会見資料



○日時	平成27年3月10日(火) 13時30分～
○会場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度新設科目「しまね地域共生学入門」開講について……………〔資料1〕 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携企画「しまね三昧リエット(仮称)」の商品化・販売 に向けた試食会について ……〔資料2〕
○資料提供項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式について……………〔資料3〕 ・平成26年度学生表彰「島根県立大学賞」及び 「島根県立大学短期大学部学長賞」の授与について……………〔資料4〕 <p>【浜田キャンパス・出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度島根県立大学入学者選抜にかかる合格者発表について (総合政策学部・看護学部)……………〔資料5〕 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度島根県立大学総合政策学部一般選抜後期日程試験の 実施及び取材について……………〔資料6〕 ・飯田泰三教授退職記念講義の開催について……………〔資料7〕 ・Iwami Travel Guide ウェブサイトのリニューアルについて……………〔資料8〕 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県立大学出雲キャンパス開学20周年記念式典について……………〔資料9〕 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度公開講座の開催について……………〔資料10〕
○行事予定	<p>[卒業式・修了式]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【浜田キャンパス】……………3月19日(木) 【出雲キャンパス】……………3月12日(木) 【松江キャンパス】……………3月13日(金) <p>[入学式]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【浜田キャンパス】……………4月3日(金) 【出雲キャンパス】……………4月4日(土) 【松江キャンパス】……………4月4日(土) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【出雲キャンパス】 ・平成26年度研究成果報告会……………3月17日(火) ・平成26年度キャリアプラン構築講座……………3月19日(木)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成27年4月10日(金) 13:30から開催予定です。

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当：地域連携課 竹口・草刈
電話：0855-24-2396

平成 27 年度新設科目「しまね地域共生学入門」開講について

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」において、平成 27 年度春学期より、新設科目「しまね地域共生学入門」（全 15 回）を開講しますのでお知らせいたします。

なお、この科目は「しまね地域マイスター」認定制度における基礎科目の位置づけとなっております。平成 28 年度からは全学共通の必修科目として、3 キャンパスで実施されますが、平成 27 年度については、浜田キャンパスにおける開講となります。

記

1 講義概要

この講義は、各キャンパスにおける専門分野を学習する前の段階において、島根県が数十年來直面している人口減少・少子高齢化・過疎化という地域の諸課題を様々な角度から講義を行うものです。本講義を通じて、地域課題への対応がいかに困難で複雑なものであるかの再認識を促し、複合的対応の重要性についての理解を深めます。

また、特定の学問領域にとどまらず、複眼的に物事をとらえ分析することの重要性も学ぶため、本講義では 3 キャンパスの教員がそれぞれの専門分野から島根地域にかかわる諸課題についての解説を行います。オムニバス講義ゆえに全体としての体系性が失われないよう、本講義では人々の人生における代表的なライフステージ（3 段階）を共通で用いて、学生は島根県内の地域課題に関する基礎知識・周辺知識を習得します。

2 到達目標

- (ア) 島根県内の課題について理解し、わが国全体の課題のなかでの位置づけを説明できる。
- (イ) 地域社会の諸課題の解決に向けて各主体が連携・協力する「共生」により解決にあたることや、自らも複数の学問領域の考え方を学ぶことの重要性について理解できる。
- (ウ) 以降の学生生活を通じて自ら実践的に地域の諸課題に取り組むことの重要性を理解し、そのテーマを設定できる。

3 講義日程

- ・春学期水曜日 1 限（9:00-10:30） 会場：浜田キャンパス講堂
 - ・4 月 8 日（水）～7 月 22 日（水）
- ※第 4 回についてのみ、5 月 7 日（木）に行います。（裏面参照）

4 対象学生

浜田キャンパス 1 年生

5 講義内容

月 日	各回の講義題目	担当教員等
第1回 4月8日(水)	しまねの地域と共に学ぶ—開講にあたって— オリエンテーション	本田雄一 学長 浜田キャンパス 林 秀司 教授
第2回 4月15日(水)	統計からみる島根のすがた	浜田キャンパス 藤原真砂 教授
第3回 4月22日(水)	乳児期における子育て支援	出雲キャンパス 長島玲子 准教授
第4回 5月7日(木)	絵本をめぐる冒険～読み聞かせでつながる地域社会～	松江キャンパス 岩田英作 教授
第5回 5月13日(水)	学校教育と心理臨床	浜田キャンパス 川中淳子 教授
第6回 5月20日(水)	島根の宝を観光に活かす	松江キャンパス 工藤泰子 准教授
第7回 5月27日(水)	田舎で暮らし続けるためには	浜田キャンパス 井上厚史 教授
第8回 6月3日(水)	地域を支える医療を守る	出雲キャンパス 吉川洋子 教授
第9回 6月10日(水)	地域社会の「伝統的」な姿と教育の歴史	松江キャンパス 矢島毅昌 講師
第10回 6月17日(水)	健やかな老いを支えるもの	出雲キャンパス 伊藤智子 准教授
第11回 6月24日(水)	島根に生きる：老年期からの回想と展望	浜田キャンパス 村井 洋 教授
第12回 7月1日(水)	島根県の政策展開（仮題）	島根県政策企画監室
第13回 7月8日(水)	地域課題への実践的取組（仮題）	海士町 山内道雄 町長
第14回 7月15日(水)	地域で学ぶということ	浜田キャンパス 林 秀司 教授
第15回 7月22日(水)	総合政策学部での学びに向けて	浜田キャンパス 李 暁東 教授

平成 27 年 3 月 10 日
 島根県立大学短期大学部 しまね地域共生センター
 担当：岩本・雪吹
 電話：0852-20-0211

産学官連携企画

「しまね三昧リエット（仮称）」の商品化・販売に向けた試食会のお知らせ

島根県立大学短期大学部 健康栄養学科 籠橋研究室 の卒業研究成果を活用して開発したリエット「しまね三昧リエット（仮称）」の関係機関及び報道機関を対象にした試食会をおこないます。

籠橋研究室では、出西生姜の葉など未利用部分を使用して、牛肉のもつ特有のにおいを消し、肉質を軟化させる方法について研究を行っています。このたび、いずも八山椒有限会社、JA しまね雲南地区本部、島根県との協働で、島根県内の農畜産物を組み合わせたリエットの試作品が完成しました。

- 1 開催日時：平成 27 年 3 月 24 日（火） 11：00～12：30 頃
- 2 開催場所：レストランカフェ メリメロ（島根県松江市西川津町 4095）
<http://tabelog.com/shimane/A3201/A320101/32003275/>

3 参加者：

《研究》島根県立大学短期大学部 健康栄養学科 籠橋研究室
 卒業研究生 朝鍋けいと、野坂絵里香、山根千春
 研究指導 籠橋有紀子

《製造販売》いずも八山椒有限会社 代表取締役 景山勲

《関係機関》JA しまね雲南地区本部、島根県

4 当日の内容

- ① 「しまね三昧リエット（仮称）」の紹介
- ② 健康栄養学科卒業研究生による牛肉と生姜についての研究内容発表
- ③ 「しまね三昧リエット（仮称）」を活用した学生考案メニューの試食 ほか

5 産学官連携開発商品について

商品名：しまね三昧リエット（仮称）

製造販売：いずも八山椒有限会社

特徴：リエットは、フランスの肉料理のこと。通常、リエットは豚肉等を使用することが多いが、「しまね三昧リエット（仮称）」は、しまね和牛をふんだんに使い、出雲市斐川町出西生姜（未利用素材の葉）・松江市西長江の米味噌・雲南市の山椒といった県内各地域のこだわりの農畜産物を組み合わせており、まるやかなコクと豊かな風味濃厚なコクと風味の豊かさが特徴。



平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学浜田キャンパス
担当：総務課 山口・石倉
電話：0855-24-2200

島根県立大学 総合政策学部入学式・大学院入学式について

平成 27 年度の総合政策学部入学式及び大学院入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 27 年 4 月 3 日(金) 11:00～12:00 (新入生入場 10:30 まで)

場 所 島根県立大学浜田キャンパス 講堂 (浜田市野原町 2433-2)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 総合政策学部入学許可宣言
大学院入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 知事祝辞
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 大学歌斉唱
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・当日午前 10 時から関係資料を講堂受付にて配布します。

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学出雲キャンパス
担当：教務学生課 渡利・矢富
電話：0853-20-0200

島根県立大学看護学部・別科助産学専攻入学式について

平成 27 年度の看護学部・別科助産学専攻入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 27 年 4 月 4 日(土) 10:00～11:00 (新入生入場 9:45 まで)

場 所 島根県立大学出雲キャンパス 体育館 (出雲市西林木町 151)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 看護学部看護学科入学許可宣言
別科助産学専攻入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 知事祝辞
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 大学歌斉唱
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・ 報道関係者には、当日午前 9 時から関係資料を体育館受付にて配布します。

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)
担当：管理課 岩本・松崎
電話：0852-26-5525

島根県立大学短期大学部松江キャンパス入学式について

平成 27 年度の島根県立大学短期大学部松江キャンパス入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせします。

記

日時 平成27年4月4日（土） 13:30～14:30（新入生入場13:10まで）

場所 島根県民会館 中ホール（松江市殿町158）

式次第

- (1) 開 式 の 辞
- (2) 入 学 許 可 宣 言
- (3) 入 学 生 宣 誓
- (4) 学 長 式 辞
- (5) 来 賓 祝 辞
- (6) 来 賓 紹 介
- (7) 閉 式 の 辞

その他

- ・当日午後 12 時 30 分から関係資料を県民会館中ホール受付にて配布します。



島根県立大学短期大学部
松江キャンパス



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン

平成 27 年 3 月 10 日
 島根県立大学浜田キャンパス
 担当：教務学生課 寺井・笹井
 電話：0855-24-2213

平成 26 年度学生表彰

「島根県立大学賞」及び「島根県立大学短期大学部学長賞」の授与について

平成 26 年度「島根県立大学賞」及び「島根県立大学短期大学部学長賞」を以下のとおり授与します。これらの賞は、本学の学生が、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の範となる行動を行い、又は優秀な成果を挙げた場合等に表彰を行うものです。

表彰の部門及び選考の対象

- (1) 学術部門 公表された学術研究成果
- (2) 芸術部門 文学、美術、音楽、演劇等の分野において発表された作品
- (3) スポーツ部門 公的な大会における上位入賞その他これに準ずる場合
- (4) 文化活動部門 本学及び学外における課外文化活動の成果発表、展示等
- (5) 社会活動部門 ボランティア活動、人命救助その他の社会の範となる活動を行った場合

「平成26年度島根県立大学賞」 浜田キャンパス受賞者（個人：6名、団体：2団体）

(1)

受賞者	北東アジア開発研究科博士前期課程 2 年生 金 龍
部門	社会活動
功績等	金龍は、「国際交流の夕べ」で、幹事会部員として中国人留学生の合唱を担当し、浜田市や大田市が主催する様々の日中交流の場でも、楽器演奏の特技と社交的な人柄を生かし、学生と市民や子供たちとの親睦に貢献した。

(2)

受賞者	総合政策学部 3 年生 高宮 一成
部門	文化活動
功績等	高宮一成は、「放送サークル」の部長として、放送技術向上や放送活動を通して地域との交流を進めるなど、積極的な活動を行った。また、各大学・短期大学の日頃の放送活動・制作活動の成果を発表する場として行われている「第 31 回 NHK 全国放送コンテスト」の朗読部門において、全国 248 名のエントリーの中から 8 名の本選出場者に選出され、ステージ上の実演を行い、NHK 京都放送局のディレクター、アナウンサー、放送関係者等の審査を経て、全国第 2 位という顕著な成績を修めた。

(3)

受賞者	総合政策学部3年生 齋藤 大介
部門	文化活動
功績等	
<p>齋藤大介は、2014年4月から現在まで、中国新聞キャンパスリポーターとして、本学学生の社会貢献活動、サークル活動、ゼミ活動などを取材し、記事を中国新聞に掲載することで広く社会に発信した。知的好奇心と探究心を持ち、精力的に記事を中国新聞に配信する取り組みは過去に無く、目を見張るものがあった。記事にされていない活動にも積極的に足を運び、社交的でコミュニケーション能力も高く、何事にも真摯に取り組む姿勢は周りの学生の模範となっている。</p>	

(4)

受賞者	総合政策学部4年生 福田 智之
部門	学術
功績等	
<p>福田智之は内閣府国際青年育成事業・中国の寧夏で行われた交流の翼事業・ベトナムでのボランティア活動など、在学中に6カ国を訪問して異文化交流を行い、これらの成果を、国際交流課主催のイベント、海遊祭での展示や発表を通じて、本学学生に伝えた。本学で出版している英字新聞上にも、ベトナム、中国、カンボジアの文化や社会についての記事を投稿し、ベトナムの大学の日本語教員と協力し、スカイプや年賀状などによる本学の学生とベトナムの学生の交流の場を設けるなど、国際交流に顕著な貢献をした。</p>	

(5)

受賞者	総合政策学部4年生 土谷 大介
賞の部門	学術
功績等	
<p>土谷大介はミネソタ州立大学への第1期派遣留学生であり、在米中は本学の英字新聞やスカイプを通じて、また、帰国後は、学報や留学説明会等を通じて、留学経験を発表し、留学の意義を後輩に伝えた。英語の能力ははずば抜けて高く、TOEFL-iBTは77点、TOEICは905点を獲得し、ERアシスタント及びTOEFLリーダーとして授業の補助もしている。グリフィス大学の学生が本学を訪問した際は、銭太鼓のパフォーマンスや指導を行い素晴らしいイベントを開催した。多くの人から頼りにされ、能力・人物の両面において、模範的な学生である。</p>	

(6)

受賞者	総合政策学部2年生 飯尾 和記
部門	社会活動
功績等	
<p>飯尾和記は、大阪・釜ヶ崎の路上生活者、日雇い労働者への支援活動および島根県立大学における広報活動において、重要な役割を果たした。学生企画ネットワークという団体に所属し、釜ヶ崎におけるボランティア活動では、お盆には炊き出しを行い、夏祭りの運営を補助した。年末年始は炊き出しに加え、路上生活者の生命保護のための活動（人民パトロール、医療パトロール、夜警）にも参加した。その後、「地連カフェ」にて現地での活動報告と今夏の活動への参加を募集した。浜田市では実感しにくい路上生活者の生活実態を体感し、県大の学生と一緒に路上生活者の支援のあり方を考える、きわめて貴重な活動を行った。</p>	

(7)

受賞者	HIV 啓発ボランティア活動を実施した <small>はやしひろあき</small> 林 裕明ゼミ
部門	社会活動
功績等	林裕明総合演習参加学生は、11 月、学生会館にて浜田保健所と合同でエイズ予防のためのキャンペーンを実施した。エイズに関する正しい知識を持つ必要性を訴えたほか、HIV 抗体検査に関するパンフレット 300 部を配布した。昨年に続く取り組みで、学生会館のロビーでは関連のパネル展も開いた。

(8)

受賞者	島根県立大学 BBS サークル
部門	社会活動
功績等	<p>本学創立時から続く伝統ある部活動 BBS (Big Brothers and Sisters Movement) は、青少年の健全育成を目的に、良き兄や姉のような存在として、地域に根ざした活動を行うボランティアグループであり、主に青少年の非行防止活動に取り組んでいる。浜田市内の各地で、児童を対象とした通学合宿などの宿泊体験活動を年間 5 回実施したり、芋掘り・科学実験教室・クリスマス会などのイベントを年会 30 回以上実施した。活動を行うにあたっては、教育委員会などの行政機関、公民館や NPO 法人、子どもの親など地域と連携し、企画運営を行った。大学生ながら、長年受け継がれてきた経験値から発揮される企画力や遂行力は、地域の方々からも高い評価を受け、部員全員が毎年救命や幼児安全法に関する講習を自主的に受講していることから、高い信用と信頼を得ている。</p> <p>また、自己研鑽活動として日本全国の BBS 会員と積極的に交流し意見交換を行ったり、発達障害について学ぶ講習やバルーンアート講習などを開催している。このような部外の学生や地域の方と一緒に学ぶ姿勢も鑑みても、受賞にふさわしい学生団体である。</p> <p>参考：平成 26 年度県民いきいき活動奨励賞 (ユース部門) 受賞</p>

➤ 表彰式

日時：平成 27 年 3 月 19 日 (木)
場所：浜田キャンパス講堂
平成 26 年度卒業式にあわせて実施

➤ 問い合わせ先

所属 島根県立大学浜田キャンパス教務学生課
電話：0855-24-2213 FAX：0855-23-7352
電子メール：kyoumu@admin.u-shimane.ac.jp

「平成 26 年度島根県立大学賞」 出雲キャンパス受賞者（個人：3名）

(1)

受賞者	看護学部3年生 岩本 香穂、好川 鈴夏
部門	社会活動
功績等	
<p>岩本香穂、好川鈴夏は、国際協力 NGO ボランティアプラットフォーム主催の海外ボランティア活動において、フィリピンでのストリートチルドレン支援活動に従事した。</p> <p>海外ボランティア活動では、フィリピンでの貧富の差が激しい現状や生活状況を視察し、父親を知らない子どもたちの支援や教育支援、給食支援などに規律正しく、かつ精力的に従事した。</p> <p>これらの活動は、国際的な支援を担うとともに、活動を通して日本から参加した他大学の学生との交流にも繋がり、看護学を学ぶ学生として関係する人々・機関と倫理的配慮を考慮した連携を図りながら社会に貢献する有意義なもので、学生の範として表彰に値するものである。</p>	

(2)

受賞者	看護学部1年生 木村 明菜
部門	スポーツ
功績等	
<p>木村明菜は、4歳から柔道に取り組み、兵庫県立赤穂高校から本学へ入学した後も、練習環境が整わない中、平田高校での合同練習に取り組んでいる。</p> <p>そのような状況下で、平成 26 年 4 月 27 日に開催された島根県女子ジュニア柔道体重別選手権大会において、1位という成績を収めた。</p> <p>恵まれない環境の中、独自に努力を重ね上記の好成績を収めたことは、学生の範として表彰に値するものである。</p>	

➤ 表彰式

日時：平成 27 年 3 月 12 日（木）

場所：出雲キャンパス学長室

➤ 問い合わせ先

所属 島根県立大学出雲キャンパス教務学生課

電話：0853-20-0200 FAX：0853-20-0201

電子メール：kyomu@izm.u-shimane.ac.jp

「平成 26 年度島根県立大学短期大学部学長賞」 松江キャンパス受賞者（個人：2名）

(1)

受賞者	総合文化学科 2 年 <small>あおささ みか</small> 青笹 実香
部門	文化活動
功績等	青笹実香は、山陰地域大学間連携協働教育推進事業において数多くの学生交流事業を主催し学生間の交流・連携に大きく貢献した。また、飛鳥祭実行委員やボランティアサークル代表、学生図書委員を務めるなど課外活動に積極的に取り組んだ。

(2)

受賞者	健康栄養学科 1 年 <small>おむら みずき</small> 小村 美寿希
部門	スポーツ
功績等	小村美寿希は、第 55 回山陰ソフトテニス選手権大会において一般女子の部で優勝、第 69 回国民体育大会の島根県代表選手として選出されるなど優秀な成績をおさめた。

➤ 表彰式

(1) 青笹実香さん

日時：平成 27 年 3 月 13 日（金）（卒業式終了後）

場所：島根県民会館

(2) 小村美寿希さん

日時：平成 27 年 5 月 15 日（金）（球技大会時）

場所：松江市総合体育館

➤ 問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150

電子メール：gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp

【資料5】

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学アドミッション室
担当：的場、有藤
電話：0855-24-2203

平成 27 年度島根県立大学入学者選抜にかかる 合格者発表について（総合政策学部・看護学部）

このことについて、3月5日（木）午前10時に合格発表しましたのでお知らせします。

【総合政策学部 一般選抜前期日程】

	募集 者数 ①	出願 者数 ②	受験 者数 ③	合格者 ④	志願 倍率 ②÷①	実質 倍率 ③÷④
(3教科型)						
H27	80名	402名	401名	175名	5.0倍	2.3倍
			(313名)			
(5教科型)						
H27	40名	586名	586名	168名	14.7倍	3.5倍
			(499名)			

注：()内は個別学力検査を受験した受験者数です。個別学力検査を受けなかった場合でも
大学入試センター試験の成績のみを利用し合否判定を行います。

【看護学部 一般入試】

H27	35名	326名	257名	43名	9.3倍	6.0倍
-----	-----	------	------	-----	------	------

以上

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学 アドミッション室
担当：的場、妹尾
電話：0855-24-2203

平成 27 年度島根県立大学総合政策学部一般選抜後期日程試験
の実施及び取材について

1. 試験日程

平成 27 年 3 月 12 日 (木)

9 : 20 ~ 9 : 50 受験生入室
10 : 00 ~ 10 : 30 注意事項説明
10 : 30 ~ 個別面接
※ 12 : 40 頃までには終了予定。
12 : 20 ~ 12 : 50 受験生入室
13 : 00 ~ 13 : 30 注意事項説明
13 : 30 ~ 個別面接
※ 16 : 40 頃までには終了予定。

2. 試験会場 島根県立大学 講義研究棟

3. 志願者数 189名

4. 試験内容 個別面接

(可否判定は、大学入試センター試験の成績と個別面接の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら可否を決定します。)

5. 確定受験者数の発表

平成 27 年 3 月 12 日 (木) 14 時 30 分以降

6. 取材要領

(1) 取材対応者 教育研究支援部長 齋藤 裕幸

(2) 取 材

(ア) 入構の際には必ず報道機関の腕章等を付けてください。

① 集合日時・場所

平成 27 年 3 月 12 日 (木) 9 時 50 分 島根県立大学本部棟 1 F 玄関ロビー

② 取材時間 10 時 00 分から 10 時 10 分まで (時間厳守でお願いします。)

③ 取材用試験室 面接控室 (講義研究棟 1F 大講義室 1)

(イ) 取材上の注意事項

① 受験者に動揺を与えないよう注意してください。

② 受験者が特定できるような撮影は、避けてください。

(特に受験生の前方からの撮影はご遠慮ください。)

③ 取材用試験室以外への立ち入りは、原則として認めません。

(ウ) 不測の事態発生時の取材

取材対応者の了解のない限り、試験場には立ち入らないでください。

平成 27 年 3 月 10 日
 島根県立大学浜田キャンパス
 担当：事務局総務課 山口
 電話：0855-24-2200

飯田泰三教授退職記念講義の開催について

飯田泰三教授(島根県立大学副学長)が、この3月をもって退職されますことを記念して、下記のとおり退職記念講義を開催します。

記

- (1) 日時 平成 27 年 3 月 16 日 (月) 16:30～18:00
 受付開始 16:00
- (2) 会場 島根県立大学浜田キャンパス中講義室 3
- (3) 題目 「石見と私」
- (4) 対象 どなたでもご参加いただけます。
- (5) 申込 事前申し込み不要です。

飯田泰三教授プロフィール

1943年生まれ(72歳) 島根県(江津市都野津)出身
 東京大学法学部 卒業(1966年3月)
 東京大学大学院法学政治学研究科博士後期課程満期退学(1971年) 法学博士(1973年)

1970～1971年 立教大学法学部助手
 1971～1980年 法政大学法学部助教授
 1980～2008年 法政大学法学部教授
 1990～1991年 中国北京日本学研究センターに出講
 1994～1995年 法政大学法学部長
 1997～1999年 // ボアソナード記念現代法研究所長
 2000～2001年 // //
 1998～2004年 // 戦後50年史編纂委員長
 2006～2008年 // 沖縄文化研究所長
 2008年4月～ 島根県立大学教授(～現在に至る)
 2008年4月～ 島根県立大学大学院北東アジア研究科長(～現在に至る)
 ※北東アジア研究科は平成21年4月北東アジア開発研究科に改組
 2009年4月～ 島根県立大学副学長(～現在に至る)

専門：日本政治思想史ほか

平成 27 年 3 月 10 日
 島根県立大学浜田キャンパス
 准教授 ケイン・エレナ・アン
 電話：0855-24-2276

Iwami Travel Guide ウェブサイトのリニューアルについて



Iwami Travel Guide では、石見地方で体験できること、レストラン、世界遺産に登録された石見銀山を含む観光地等について英語で紹介しています。これまで5年間は、ブログとしてウェブサイト運営してきましたが、この度、掲載内容のさらなる充実を目指して、本サイトを大幅にリニューアルし、公開しました。また、作成にあたっては、地域の方々に様々な支援をいただきました。本サイトの概要は下記のとおりです。

URL: <http://www.iwami-travelguide.com/>

1. 背景

平成 22 年から島根県立大学浜田キャンパスのケインゼミナールに所属している学生が、石見地方についてブログを通して英語で情報発信しています。この5年間でブログのアクセス件数は 27 万回を超え、123 ヶ国 で閲覧されました。



ブログが閲覧された国

ブログのアクセス件数の一部

2. 掲載内容

石見地方の観光地、レストラン、体験の情報 等

3. 取組の特色

- 場所を紹介する際に、「難しい漢字が読めず行き先がわからない」等の外国人観光客の声を反映し、屋外看板、道案内、地図付きの記事を作成するなどの工夫をしました。
- 本サイトのほかに、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどの各種 SNS を利用し、情報発信をしています。
- 掲載内容を考えるにあたり、他国の学生と交流する機会等を利用して情報を集め、利用者側が考える日本の魅力を紹介するようにしています。
- 本サイトのデザインに関しては、学生自身がウェブデザイナーと相談して作成しました。
- 写真の撮り方については、英語でブログを書いている写真家からアドバイスを受けました。

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学出雲キャンパス
担当：管理課 三谷・三澤
電話：0853-20-0200

島根県立大学出雲キャンパス開学 20 周年記念式典について

1. 目 的

島根県立大学出雲キャンパスは平成 7 年に島根県立看護短期大学として開学し、本年度で 20 周年を迎えることとなりました。この間、大学運営に多大なご支援をいただいた皆さまに感謝申し上げるとともに、今後も出雲キャンパスの教育・研究活動等についてご理解をいただくことを目的に、記念式典を開催いたします。

2. 日 時

平成 27 年 3 月 27 日（金）18:00～

3. 会 場

ニューウェルシティー出雲 （出雲市塩冶有原 2 丁目 15-1）

4. その他の記念事業

○祝賀パーティー

記念式典終了後、同会場にて卒業生・修了生も交えて祝賀パーティーを開催します。

○記念誌発行

20 年間の歩みを、大学関係者の寄稿や OB・OG の回顧録などで綴った記念誌「にんげん大好き」を発行します。

○記念植樹

短大部最後となる修了式（平成 27 年 3 月 12 日（木））の終了後、出雲キャンパスにおいて、卒業生会・後援会による桜の苗木の記念植樹を行います。

平成 27 年 3 月 10 日
島根県立大学短期大学部（松江キャンパス）
担当者：管理課 岩本・藤原
電 話：0852-26-5525

島根県立大学短期大学部松江キャンパス・平成 27 年度公開講座の開催について

1. 目的

島根県立大学短期大学部松江キャンパスでは、地域の皆様の豊かな生涯学習の場として今年度も公開講座を開催いたします。

2. 期間

平成 27 年 5 月 16 日～平成 28 年 2 月 15 日まで
（詳細は別紙パンフレットを参照）

3. 会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス（松江市浜乃木 7 丁目 24-2）ほか

4. 主催者

島根県立大学短期大学部松江キャンパス

5. 内容・募集定員等

別紙パンフレットをご参照ください。

6. 申込方法・料金

パンフレット裏面の申込書を大学へ郵送してください。申込期間は、平成 27 年 4 月 1 日（水）から 4 月 24 日（金）です。受講料は無料ですが、「椿の道アカデミー会員」としての登録料 2,000 円が必要です。

7. 「椿の道アカデミー」とは、大学図書館の利用や、公開授業への参加など、松江キャンパスをより身近な存在として感じて頂くための会員制度です。公開講座は 14 講座をご用意しております。中でも、毎回参加要望の多いフィールドトリップ講座「文化資源探求講座」の「松江ゴーストツアー」は、NPO 法人松江ツーリズム協会と連携し、日没後の堀川遊覧船に乗り、小泉八雲が採取・再話した怪談の語りを堪能する夜の文化探訪ツアーを行います。

椿の道アカデミーのご案内

「椿の道アカデミー」では、さまざまな世代やライフスタイルに合わせ、幅広い時間帯と多彩な講座をご用意しております。どうぞふるってお申込みくださいますよう、ご案内申し上げます。

平日昼の部

1 総合文化講座〈全8回〉

- 開講日/①6/10 ②6/24 ③7/15 ④7/29 ⑤9/9 ⑥9/16
⑦10/30 ⑧11/11
- 曜日/水曜日(10/30のみ金曜日) ●時間/14:00~15:20
- 場所/体育館研修室 ●定員/100名
- 講師/総合文化学科教員・出雲キャンパス教員・浜田キャンパス教員

プログラム

- ①6/10 平和論を考える カント・西周・アーレントの平和論を読む
村井 洋 (浜田キャンパス教授)
- ②6/24 戦後70年 社会の動きとマスコミ報道
～映画・TV・新聞の動向を中心に～
瓜生 忠久 (浜田キャンパス教授)
工藤 泰子 (総合文化学科准教授)
- ③7/15 昭和の東京オリンピックと観光教育 塩谷 もも (総合文化学科准教授)
- ④7/29 ムスリム観光客の増加と異文化理解 塩谷 もも (総合文化学科准教授)
- ⑤9/9 小説の愉楽—漱石『夢十夜』を読む 岩田 英作 (総合文化学科教授)
- ⑥9/16 地域再生のまちづくり〈住居編〉 藤居 由香 (総合文化学科准教授)
- ⑦10/30 文化とコミュニケーション 橋本 由里 (出雲キャンパス准教授)
- ⑧11/11 現代アイルランドとラフカディオ・ハーン
—アイルランド記念事業を終えて—
小泉 凡 (総合文化学科教授)

2 源氏物語を読む—恋に殉じた青年の話(結編)—〈全6回〉

源氏物語の楽しみは「原文」に接することから始まります。どんな名訳・現代語訳も作者の撰んだ表現には及ばない。女三宮を思い切れない柏木の一途さも、可愛がってくれた「ひかる叔父さん」への裏切りに押潰されていく痛ましさも、原文を通してこそ切々と迫ってきます。「若菜」巻は、人生の「あやにくさ」が集約された『源氏物語』の白眉です。初めての方も御一緒に是非どうぞ。今回で柏木君とお別れです。

- 開講日/①6/1 ②7/6 ③8/3 ④10/5 ⑤11/2 ⑥12/7
- 曜日/月曜日 ●時間/14:40~16:10
- 場所/体育館研修室 ●定員/100名
- 講師/三保サト子 (本学名誉教授)
- テキスト/昨年と同じテキストを使用します。新潮日本古典集成『源氏物語 五』(若菜・柏木巻、3,465円)。購入希望の方は申込書にご記入ください。初回講座の開始前に販売いたします。

3 風土記の語る神話・伝説—出雲国風土記を中心に—〈全5回〉

風土記撰進令発布1300年記念の講座として、今年度は出雲国をはじめ、各国風土記の語る神話の魅力を楽しんでいただきたいと思います。

- 開講日/①6/26 ②7/24 ③8/28 ④9/18 ⑤9/25
- 曜日/金曜日 ●時間/15:00~16:30
- 会場/体育館研修室 ●定員/100名
- 講師/藤岡 大拙 (本学元学長) ●毎回プリントを配布します。

プログラム

- ①6/26 播磨国風土記の語る出雲
- ②7/24 風土記逸文の語る出雲 (山城・尾張・伊勢など)
- ③8/28 中国地方の風土記逸文 (因幡・伯耆・備後など)
- ④9/18 風土記の語る著名な神話・伝説 (駿河・丹後など)
- ⑤9/25 風土記の語る温泉神話 (出雲・伊予・伊豆など)

4 英語絵本の音読を楽しもう〈全5回〉

英語の絵本や多読用図書(レベル別の読み物で、やさしい本からスタートします)と一緒に音読して楽しみましょう。読み聞かせにも挑戦します。英語初心者向け講座ですが、文法の説明や英語の日本語訳などはしません。絵本やストーリーを楽しみながら、海外の文化にも少々触れられますし、英語の基礎力アップにもつながるでしょう。

- 開講日/①7/27 ②7/28 ③7/29 ④7/30 ⑤7/31
- 時間/10:40~12:10
- 会場/図書館(第1グループ閲覧室)
- 定員/10名 ●対象/中学生以上
- 講師/小玉 容子 (総合文化学科教授)、ダスティン・キッド (総合文化学科講師)

5 椿の道読書会〈全9回〉

まつえ市民大学連携講座

図書館で実施する読書会です。毎回様々なジャンルから1冊の本を選び、その本についての感想や意見を語り合います。他の人の感想や意見を聞くことで、違う視点や考えから、本をより深く読みとることができたり、また、普段自分では読まないジャンルの本に触れる良い機会にもなるのではないのでしょうか。1人の読書は足し算型、読書会は掛け算型とも言われます。1人きりだった読書の世界を広げてみませんか。

- 開講日/①5/18 ②6/15 ③7/13 ④9/14 ⑤10/19 ⑥11/16
⑦12/14 ⑧1/18 ⑨2/15
- 曜日/月曜日 ●時間/14:00~16:00
- 会場/図書館(第1グループ閲覧室) ●定員/15名
- 講師/北井 由香 (本学図書館主任司書)
- 課題図書は、話し合って決めます。

6 子どもがいる家庭のための英語教育実践講座2015〈全3回〉

この講座では、幼児~小学生がいる家庭でできる英語教育について学びます。子どもはどうやって言語を習得するのでしょうか。そのしくみを理解し、子どもの言語能力を効果的にアップする方法を探ります。おすすめの英語教材やDVD・絵本・ゲームを紹介しますし、お子さんに話しかける育児英語を学びます。なお、講座は日本語で行います。

- 開講日/①6/19 ②6/26 ③7/3
- 曜日/金曜日 ●時間/10:30~12:00
- 会場/第2視聴覚室 ●定員/15名
- 講師/ラング・クリス (総合文化学科講師)
- 対象/主に幼児~小学生がいる家庭の保護者、英語教育に興味がある方等。
- 備考/主講座内容は、概ね昨年と同じです。昨年度受講された方も、受講できますが、定員数を超えた場合は初めての方を優先させていただきます。

7 ~続々~子育て・孫育て世代のための子ども理解講座〈全3回〉

子どもの社会を読み解く視点を通じて、子どもと日々かわる方が子ども理解をいっそう深めることをお手伝いする講座です。受講者の関心に応じて様々な年齢層の子どもについての話題を設定しますので、お子さん・お孫さんをお持ちの方、保育者としてお勤めの方、子どもに興味のある方など、どなたでも受講できます。過去に受講された方も、初めて受講される方も、どうぞご参加ください。

- 開講日/①10/13 ②10/20 ③10/27
- 曜日/火曜日 ●時間/14:00~15:30
- 会場/図書館(第1グループ閲覧室) ●定員/15名程度
- 講師/矢島 毅昌 (保育学科講師)

プログラム

- ①10/13 「子どもを理解する」という営みを考える
- ②10/20 「子育て」と「母親」「父親」との関係を考える
- ③10/27 「最近の子どもは…」と語る社会の姿を考える

会場へのアクセス

- JR松江駅より
車…約15分
バス…1番のりば南循環外回り「県立短大前」
下車、徒歩1分
- JR乃木駅より 車…約5分
- 山陰自動車道松江中央ランプ・松江西ランプより車で2~3分



島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7丁目24-2
TEL 0852-26-5525 (代表)
http://matsuec.u-shimane.ac.jp



しまね
地域共生
センター

Shimane Center
for Encounters through Community,
The University of Shimane
Junior College

「しまね地域共生センター」は松江キャンパスを拠点とする、地域の「ともに支え合う学びのプラットフォーム」です。

平日夜の部

8 健康栄養講座：続 高齢者の食と健康 (全7回) まつえ市民大学連携講座

鳥根県は、全国に先駆けて高齢化が進んでおり、健康で明るく生きがいをもって生活できる社会の実現を、積極的に図っていく必要があります。この講座では、鳥根県の高齢者の健康について、現状と取り組みを紹介し、身体の変化に対応した食および健康づくりについてお話しします。

- 開講日/①8/11 ②8/18 ③8/25 ④9/1 ⑤9/8 ⑥9/15 ⑦9/29
- 曜 日/火曜日
- 時 間/19:00~20:30
- 会 場/臨床栄養実習室
- 定 員/20名
- 講 師/健康栄養学科教員・出雲キャンパス教員

プログラム

- ①8/11 高齢者の身体と特徴 直良 博之 (健康栄養学科教授)
- ②8/18 生活習慣病と上手に付き合うために 安藤 彰朗 (健康栄養学科教授)
- ③8/25 ロコモティブ・シンドローム 伊藤 智子 (出雲キャンパス准教授)
- ④9/1 高齢者の認知症予防 山下 一也 (出雲キャンパス教授)
- ⑤9/8 骨粗しょう症、メタボ予防のための食事 名和田清子 (健康栄養学科教授)
- ⑥9/15 高齢化と鳥根の食材 ① 籠橋有紀子 (健康栄養学科准教授)
- ⑦9/29 高齢化と鳥根の食材 ② 赤浦 和之 (健康栄養学科教授)

9 栄養士のためのステップアップ講座 (通常講義12回・集中講義4回)

管理栄養士免許取得を目指し国家試験を受験する方々のために、試験対策を行う講座です。試験科目のうち「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「給食経営管理論」を重点的にサポートします。

- 【通常講義】●開講日/①7/8 ②7/22 ③8/5 ④8/26 ⑤9/9
- ⑥9/30 ⑦10/14 ⑧10/28 ⑨11/11 ⑩11/25
- ⑪12/9 ⑫12/16 【全12回】
- 曜 日/第2・第4水曜日 (8月は第1・第4水曜、9月は第2・第5水曜、12月は第2・第3水曜)
- 時 間/19:00~21:00
- 【集中講義】●開講日/①8/1 ②8/2 ③9/5 ④9/6 【全4回】
- 曜 日/8~9月の土日
- 時 間/10:30~16:15 (90分×3回)
- 会 場/臨床栄養実習室 ●定 員/40名
- 講 師/健康栄養学科教員
- 対 象/本学卒業生・鳥根県内の栄養士の方

土・日の部

10 山陰民俗学会連携講座：民俗の行方

~山陰のフィールドから考える~Part3 (全4回) まつえ市民大学連携講座

高度経済成長を経た日本。日常の暮らしや祭り、民俗は著しく変容しました。新しい暮らしや様変わりした祭りの行く末はどうなるのか。民俗の何が変わり何が変わっていないのか。昨年に引き続き、山陰という具体的なフィールドの中から、世帯暮らし、民俗行事、祭礼など、各回テーマを変えて、民俗の変容と今後を考えます。

- 開講日/①7/4 ②7/11 ③7/25 ④8/8
- 曜 日/土曜日
- 時 間/13:00~15:00
- 会 場/体育館研修室
- 定 員/100名
- 講 師/山陰民俗学会員

プログラム

- ①7/4 民話「子育て幽霊」に見る母性愛 酒井 董美 (山陰民俗学会会長)
- ②7/11 歳徳神の祭 品川 知彦 (鳥根県立古代出雲歴史博物館学芸企画課長)
- ③7/25 伯耆の神や仏、祭り 福代 宏 (鳥取県立博物館学芸員)
- ④8/8 伝統行事の伝承と学校教育—石東地域における正月行事を事例に— 多田 房明 (美郷町立大和小学校校長)

11 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室 (全12回) まつえ市民大学連携講座

この講座は、民族音楽を鑑賞するだけでなく、インドネシアの民族楽器であるガムランを実際に演奏してみよう、という初心者向けの教室です。やさしい楽器から難しい楽器まで様々ですが、みんなで息を合わせて曲に仕上げている楽しめがあります。民族音楽になじみのない方も気軽にご参加ください。初心者向けの講座(A講座)を終了された方は、中上級向けの講座(B講座)にご参加ください。(どなたも、様子を見ながら両講座に参加する事が可能です。申込みはA、B共通。)

- 開講日/①5/16 ②5/30 ③6/6 ④6/20 ⑤7/4 ⑥7/18
- ⑦8/1 ⑧8/29 ⑨9/19 ⑩10/3 ⑪10/31 ⑫11/7
- 曜 日/土曜日
- 時 間/14:00~17:00 (A講座/14:00~15:30 B講座/15:30~17:00)
- 会 場/秋典ガムラン音楽堂 (松江市八雲町西岩坂2236) (5/16・8/29は本学体育館研修室)
- 定 員/25名程度 ●講 師/瀬古 康雄 (本学元教授)
- 現地集合が原則ですが、希望者には送迎もあります。

12 案外知っているようで知らない「人」の話2 (全3回)

心理学のことをやさしく解説する入門編の続編。「人」と「自分」の日常行動を考えます。今回の講座では、特に、社会や集団、対人関係を中心に話します。

- 開講日/①5/23 ②5/30 ③6/6
- 曜 日/土曜日
- 時 間/13:30~15:00
- 会 場/視聴覚室
- 定 員/20名程度
- 講 師/飯塚 由美 (保育学科准教授)

プログラム

- 心理学的入門編
- ①5/23 私たちの住む世界って？—自分の世界は人と同じなの？
- ②5/30 仲間、グループ、コミュニケーション
- ③6/6 人と人との絆—サポートネットワーク

13 子どもの困った行動に対処する養護・保育のスキルアップ講座：コモンセンス・ペアレンティング (神戸少年の町版) (全7回)

米国の児童福祉施設であるボーイズタウンで開発された養育者向けの子育て支援プログラムです。行動分析学を基礎理論として、社会的に望ましい行動を増やし、望ましくない行動を減らすためのしつけのスキルを教えるものです。日本では、神戸少年の町(児童養護施設)に導入され、全国的に普及しています。本来は、子育てに困難を抱える保護者を対象とするプログラムですが、保育所・幼稚園(3歳児クラス以上)、児童養護施設、児童相談所保護所などで、子どもの生活支援を行う職員に対する養育スキルアップのための、現任者教育用のツールとしても有効です。特に、若く経験の浅い職員に有効と考えられます。

- 開講日/①8/2 ②8/9 ③8/23 ④8/30 ⑤9/6 ⑥9/13 ⑦9/20
- 曜 日/日曜日
- 時 間/14:00~16:00
- 会 場/視聴覚室
- 定 員/20名程度
- 講 師/藤原 映久 (保育学科講師)
- 対 象/養護・保育の仕事に専門的に従事している者(放課後児童クラブ、保育所、児童養護施設、児童館、児童相談所、里親等で3歳児以上の幼児・学齢児の養護・保育・指導を行っている者) ※一般の方については、希望があれば担当講師が相談に応じます。
- テキスト/明石書店『野口啓示・のくちふみこ(2012) むずかしい子育てするコモンセンス・ペアレンティング・ワークブック』(1,890円)を使います。

プログラム

- ①8/2 わかりやすいコミュニケーション
- ②8/9 良い結果・悪い結果
- ③8/23 効果的な誉め方
- ④8/30 予防的教育法
- ⑤9/6 問題行動を正す教育法
- ⑥9/13 自分自身をコントロールする教育法
- ⑦9/20 フォローアップ

お申し込み方法

- ①申込書をバガキに貼ってお送りください。
- ②受付期間終了後、受講手続きに関する書類を郵送いたします。
- ※申込み多数により定員を超えた場合は、原則先着順で決定しますので、ご了承ください。
- ※受講料は無料ですが(テキスト代・参加費等の実費を除く)、榎の道アカデミー会員にご登録いただきます。(年度毎に登録が必要です)
- ※会員登録料は2,000円です。(鳥根大学、鳥根県立大学生、高校以下は無料)
- ※各講座の会場変更などについては、管理棟玄関の掲示板「本日の公開講座」でご確認ください。
- 受付期間 平成27年4月1日(水)~4月24日(金) (当日消印有効)
- 宛 先 〒690-0044 松江市浜乃木 7丁目24-2 鳥根県立大学短期大学部松江キャンパス 公開講座 係
- お問合せ TEL 0852-26-5525(代表) (土日祝を除く)

祝日他

14 文化資源探求講座

①松江ゴーストツアー：納涼堀川遊覧船と小泉八雲【怪談】の夕べ
小泉八雲が採集・再話した怪談の語りを堪能する、夜の文化探求ツアーです。今回は、日没後の堀川遊覧船に乗り、怪談の語り聞きながら夜の城下町の風情を楽しみます。講演と郷土料理もお楽しみいただけます。NPO法人松江ツーリズム研究会との連携で行います。

- 開講日/8/7 (金)
- 時 間/16:00~20:30 (15:45大学集合~20:30頃大学帰着) ※バスで移動します。
- 講 師/小泉 凡(総合文化学科教授)・松江ゴーストツアー語り部(松江ツーリズム研究会)
- 定 員/25名 (※申込多数の場合、抽選とします)
- 参加費/5,000円 (乗船代・夕食費等)を当日徴収させていただきます。

②「奥出雲のたたら文化」を訪ねる
奥出雲のたたら文化の歴史を辿るバスツアーです。訪問先は金屋子神社、羽内谷鉱山鉄穴流し本場跡、櫻井家住宅などです。玉峰山荘での昼食を予定しています。NPO法人松江ツーリズム研究会との連携で行います。

- 開講日/11/3 (火・祝)
- 時 間/9:00~18:00 (8:45大学集合~18:00頃大学帰着)
- 講 師/岡部 康幸 (NPO法人出雲学研究所会員・元山陰中央新報社論説委員)
- 小泉 凡 (総合文化学科教授)
- 定 員/40名 (※申込多数の場合、抽選とします)
- 参加費/3,500円 (入館料・昼食費等)を当日徴収させていただきます。

2015年度 榎の道アカデミー公開講座 申込書

フリガナ	男	女	年齢	歳
氏 名	学 校			
	大 学 名			
住 所				
電 話 番 号	FAX番号			
メー ル ア ド レ ス				

受講希望講座(○をご記入ください)	
1 総合文化講座	9 栄養士のためのステップアップ講座
2 源氏物語を読む(テキスト購入希望ありなし)	10 山陰民俗学会連携講座：民俗の行方
3 風土記の語る神話・伝説	11 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室
4 英語絵本の音読を楽しもう	12 案外知っているようで知らない「人」の話2
5 榎の道読書会	13 子どもの困った行動に対処する養護・保育のスキルアップ講座
6 子どもがいる家庭のための英語教育実践講座2015	14 文化資源探求講座①松江ゴーストツアー
7 ~枝々~子育て・孫育て世代のための子ども理解講座	文化資源探求講座②「奥出雲のたたら文化」を訪ねる
8 健康栄養講座	※ご記入頂いた情報は榎の道アカデミー以外では使用いたしません。

14 申込書を切り取っていただく